

甲 賀 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時	令和5年2月13日（月）午後3時～午後4時30分	
開催場所	甲賀警察署 大会議室	
出席者	委員	畑山智明会長、大隅忠司副会長、葛原準子委員、上原エルナデ・スジャンカロ委員、北村正之委員、谷村ふみ子委員、武藤敬助委員、上森秀夫委員、木村準子委員
	警察	署長、副署長、調査官（警務課長）、会計課長、留置管理課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から、「昨今、全国的に凶悪犯罪が発生しており、警察には重要な責務を負ってもらっている。市民としても犯罪を起こさせない地域づくりが大切だと感じている。本日は、サイバー犯罪に関しての講話があるので、講師の方の長けた知識を教示いただき、理解、共有して有意義な会議としたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から、「今年度はピタッとシール作戦から始まり、ドローンの体験、新名神高速道路建設現場の視察、『ここまる』（甲賀警察署マスコットキャラクター）の誕生等があり、あっという間の一年であった。コロナ禍により様々なことが制限されたが、甲賀警察署での勤務に誇りをもって従事することができた。本日も忌憚のない意見等をお願いする。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 講話「サイバー空間の脅威について」</p> <p>サイバー空間の脅威について、滋賀県警察サイバーボランティアから講話があった。</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 交通取締り指針</p> <p>警察から、交通取締り指針について説明があった。その際、委員から、「車の多い時間帯に重点を置いていることが分かった。事故は、交差点での発生が多いのか。」、「道路別の交通事故発生要因として考えられる背景は何か。」、「低速走行車両に対する指導はないのか。」旨の質問がなされ、警察から、「当署管内では追突事故が大半を占めており、交差点における発生に限らない。コロナ禍による行動制限が緩和され、昨年の夏以降、交通事故は増加傾向にある。全体の速度を抑制し、重大事故を防ぐ目的で速度取締りを実施しており、交通指導取締りは交通の安全と円滑を目的としている。」旨の説明があった。</p> <p>(2) 令和4年度中における甲賀警察署の概要</p>	

警察から、令和4年度中における甲賀警察署の概要について説明があった。その際、委員から、「啓発や検問が事件・事故の抑止に効果があると理解できた。これからも安全に気を付けて活動いただきたい。」「協議会において様々な取組を学び、外国人コミュニティに伝えることができた。管内の外国語案内表記等、意見を反映していただき感謝する。社会コミュニティを強化することが大切なので、外国人も地域社会に溶け込んで活動していきたい。」旨の発言があった。

5 会長総括

会長から、「様々な工夫を凝らし、取組をしていただいた。また、委員からの意見を警察活動に反映していただいたことに感謝する。」旨の発言があった。